

湯沢市地方創生推進会議 委員名簿

令和7年7月31日現在

No.	氏名	所属	役職	区分
1	高 橋 隆 太	湯沢商工会議所青年部	副会長	産
2	阿 部 俊 介	ゆざわ小町商工会青年部	部長	
3	宇 佐 美 希 美	こまち農業協同組合	主幹	
4	渡 部 千 晶	湯沢市観光物産協会		
5	田 中 甫 幸	国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所	事務所長	官
6	信 太 浩 信	湯沢公共職業安定所	所長	
7	吉 田 美 央	秋田県雄勝地域振興局総務企画部地域企画課	課長	
8	石 沢 真 貴	秋田大学教育文化学部	教授	学
9	姉 崎 美 紗	北都銀行湯沢支店	課長代理	金
10	栗 田 宏 子	秋田銀行湯沢支店	課長	
11	岩 佐 真	連合秋田横手湯沢地域協議会	議長	労
12	遠 藤 宗 彦	湯沢青年会議所	理事長	その他
13	高 橋 玲 子	合同会社Linpeace	代表	

令和7年度 第1回 湯沢市地方創生推進会議

日 時：令和7年7月31日（木）

午後2時

場 所：湯沢市役所 本庁舎4階
会議室41

次 第

1. 開 会

2. 任命書交付

3. 市長挨拶

4. 案 件

(1) 第2期湯沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組実績について

(2) 第3期湯沢市総合戦略にかかる令和7年度の取り組みについて

(3) その他

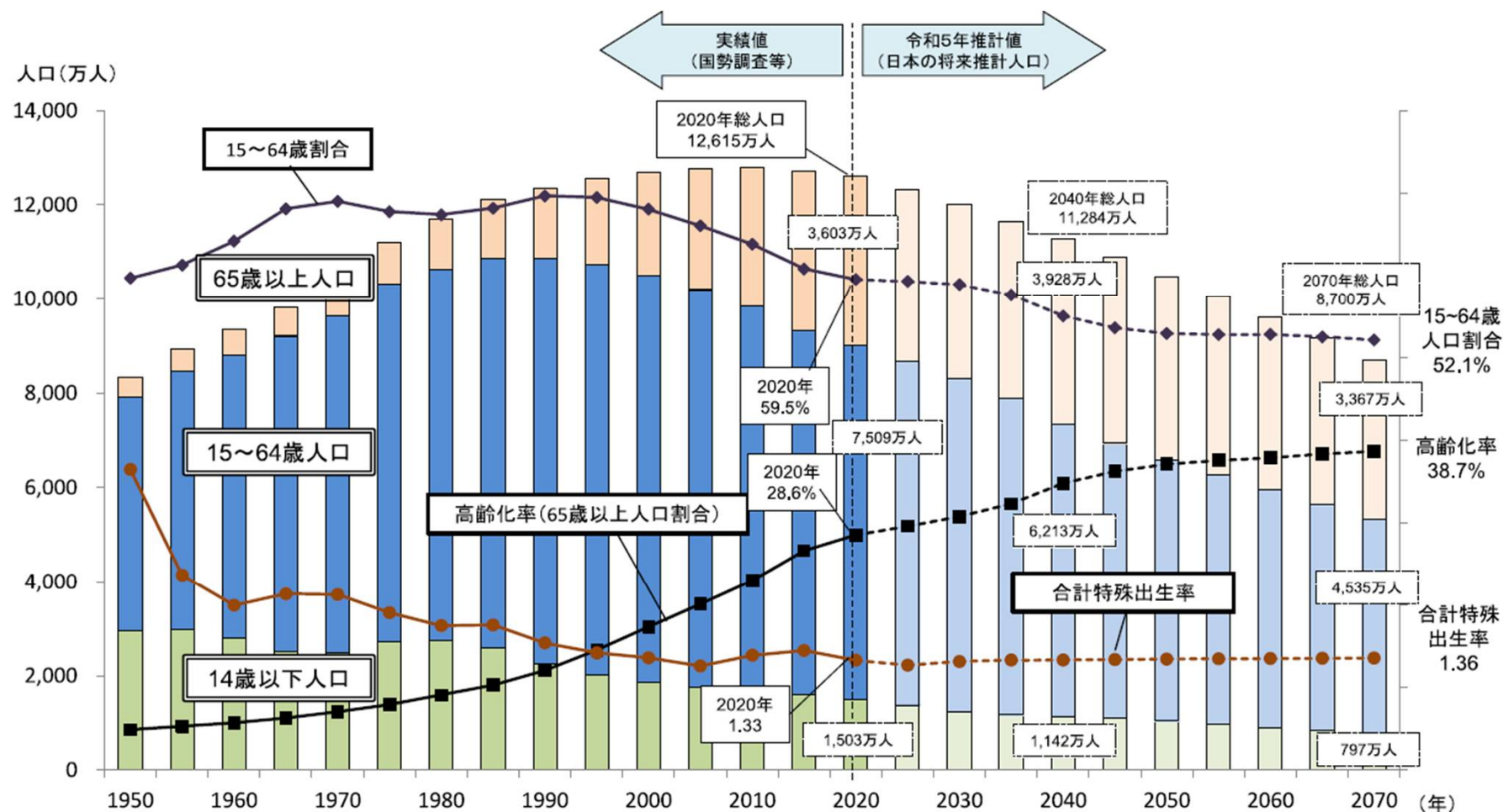
5. 閉 会

資料 1

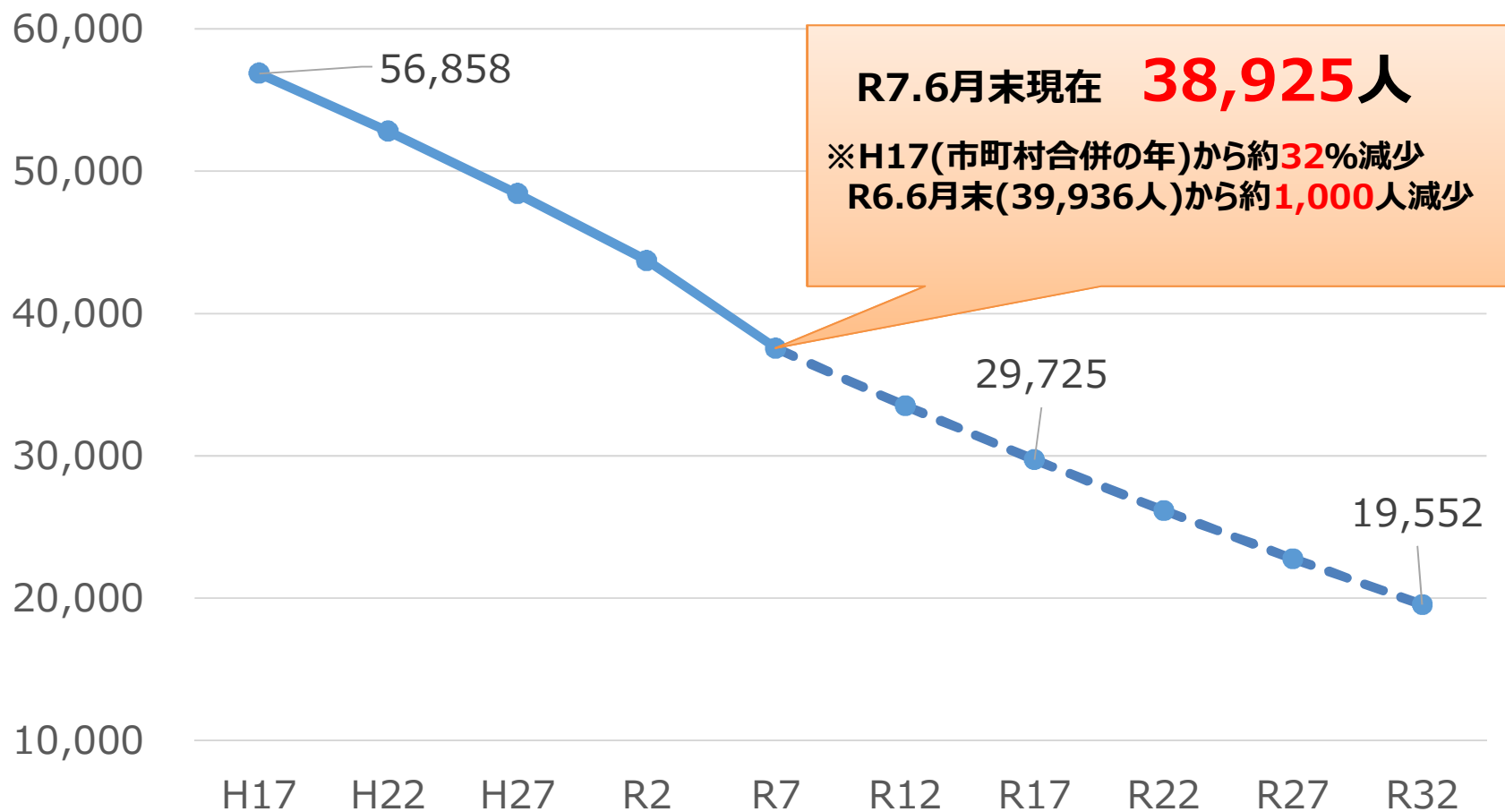
**第3期湯沢市総合戦略
概要説明資料**
2025.7.31

湯沢市総務部企画課

日本の人口動向



湯沢市の人口



※H17～R6までは、各年6月末現在の数値

R7以降は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」の数値

「地方創生」の取組

平成26年 まち・ひと・しごと創生法制定、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定

- ①「東京一極集中」の是正、②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現
- ③地域の特性に即した地域課題の解決



地方自治体においても、「地方版総合戦略」を策定して、「地方創生」の取組を推進

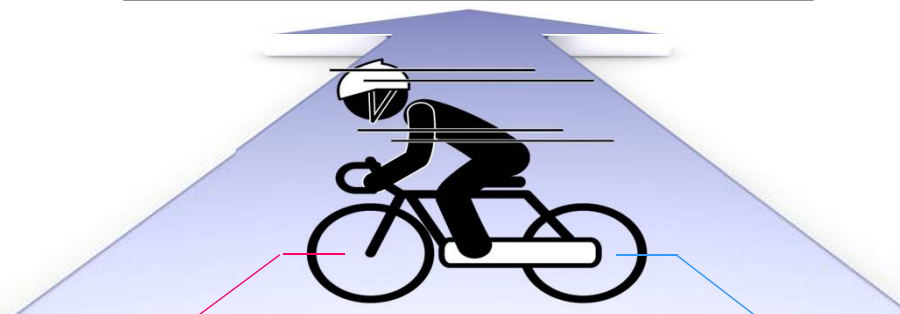
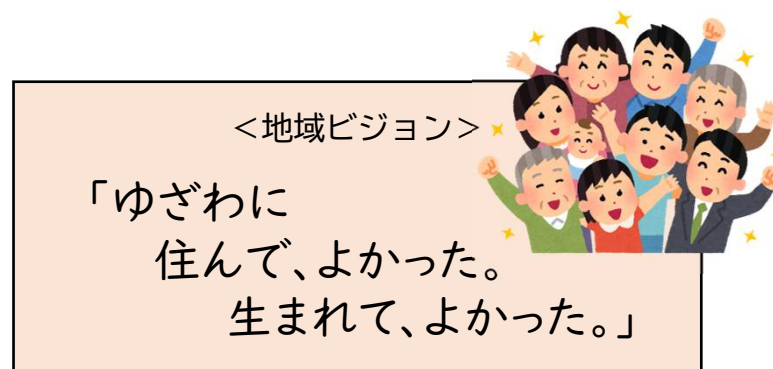


令和4年 「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が策定

- ①「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。
- ②デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化する。
- ③これまでの地方創生の取組についても、改善を加えながら推進する。



令和6年 「地方創生2.0 の『基本的な考え方』」が決定
次の10 年を見据えた地方創生の考え方が示される。



未来を創る「若者」を応援するまちづくり

- 【移住・定住】関わりたい・住みたい・住み続けたいまち
- 【出会い・結婚】大切な人と出会い、家族になれるまち
- 【妊娠・出産・子育て】子どもも親も笑顔でくらせるまち
- 【教育】子どもたちが夢を見つけ、実現する力を育むまち

みんなの「幸せ」に寄り添うまちづくり

- 【地域公共交通】快適・便利で持続可能な公共交通があるまち
- 【経済・雇用】新たなにぎわいと雇用の創出に挑むまち
- 【医療・健康】心も体も元気でいられるまち
- 【ライフスタイル】楽しく自分らしく生きられるまち

未来を創る「若者」を応援するまちづくり

移住・定住

動画やSNS、デジタル技術など、特に若い世代への訴求力が高い手段を活用して、本市の魅力を発信し、本市に関わるファンを獲得します。また、移住に対する支援や住宅施策の実施により、本市に新たに住んでくれる方、住み続けてくれる方を増やします。

妊娠・出産・子育て

子どもを持ちたい方の想いに寄り添うとともに、生まれた子どもたちが健やかに成長できるよう、子育てに関する経済的負担の軽減と、子育てしやすい環境の整備を行い、子どもと親の笑顔を守ります。

出会い・結婚

出会いを見つけることと、出会った二人が結婚生活をスタートさせることへの両面から支援を充実させ、大切な家族をつくりたい若者たちの希望をサポートします。

教育

学校における教育を充実させることで、子どもたちが「もっと学びたい」という気持ちを強くし、夢を見つけ、実現する力を育みます。また、子どもたちの学びを地域全体で支え、子どもたちにとって魅力あふれるふるさと“ゆざわ”を目指します。

みんなの「幸せ」に寄り添うまちづくり

地域公共交通

通院や買物などの日常の生活のほか、様々なライフスタイルを支える地域公共交通の快適性と利便性を向上させるとともに、公共交通の人手不足に対応し持続可能な地域公共交通を形成していくためにも、多様な主体が連携した新たな交通サービスの可能性を検討します。

医療・健康

市民の皆さんが医療を受けやすい環境と体制の整備を検討するとともに、人材不足の傾向にある医療の担い手の確保を進め、安心して受けられる医療サービスの構築に取り組みます。また、医療に頼らずとも健康に過ごせることが望ましいとの考えから、心身の健康づくりを進めます。

経済・雇用

東北中央自動車道の全線開通や湯沢市複合公共施設の開館、台湾との交流の活発化といった新たな動向を契機として、市ににぎわいを創出し地域の経済活動を支えます。また、企業誘致や起業・創業に対する支援などにより、「働きたい」「稼ぎたい」という意欲に応えられるような新たな雇用と仕事の創出を図ります。

ライフスタイル

毎日のくらしの気分を盛り上げる「楽しさ」と「便利さ」を提供するとともに、自分の思いや時間をしっかりと持って“自分らしく”生きられるまちづくりを進めることで、「住んでよかった」と思えるまちを目指します。

戦略1 新たな人の流れ・仕事の創出

市の重要課題

若者等の人口流出により地域全体が疲弊し、産業や経済が縮小

取組方針

新たな人の流れをつくり、多様な人材との
交流による地域の活性化を目指します

アウトカム（将来的に目指す成果）

社会減±0の実現

（転入、転出者の均衡を保つ）

※H30 転出超過数 310人 → 目標 0人

取組み事項

- ①関係人口の創出・拡大
- ②移住・定住施策の推進・強化
- ③テレワーク等の普及・促進

戦略2 若者への未来投資による定住の促進

市の重要課題

地域社会との関わりや体験が乏しく、地元を離れる若者が増加

取組方針

次世代を担う若者が活躍する社会の実現を目指します

アウトカム（将来的に目指す成果）

**社会減±0の実現
若者等の定住化促進**

（若者の回帰促進、地元就職率向上、
地域全体で若者を育成する仕組み）

※H31.3 高校卒 県内就職率 約20%、県外就職 約10%
大学等進学率 約70%

取組み事項

- ①奨学金施策振興による若者の回帰促進
- ②中学生（高校生）を対象とした短期留学支援
- ③キャリア教育の振興等による地元愛の醸成

戦略3 結婚・出産・子育て支援の充実

市の重要課題

ライフスタイルの変化や将来への経済的不安による
晩婚化と少子化の進展

取組方針

地域社会における女性の立場や環境を改善し、
安心して子供を産み、育てやすい環境の充実を目指します

アウトカム（将来的に目指す成果）

合計特殊出生率の改善

（婚姻数、出生率の向上、子育て世帯の定住促進）

※R2 合計特殊出生率0.92 → 初期目標1.45

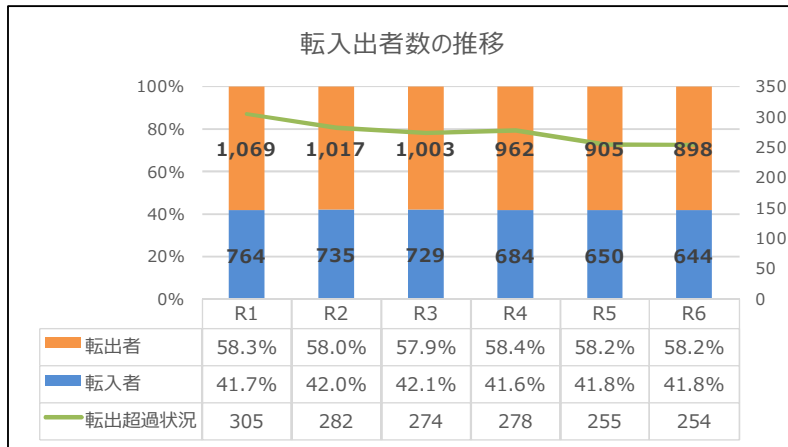
取組み事項

- ①出会いの機会創出と結婚支援の強化
- ②子育てニーズに応えるまちづくり
- ③情報発信・発信ツールの検討・見直し

第2期湯沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略における 数値目標及び重要業績評価指標(KPI)の実績

●数値目標

「2040 年までに転出超過状態にある社会減の段階的な均衡を図る。」



【実績総括】

計画期間(R2～6年度)の転出超過人数は減少傾向にあるが、社会増減割合は横ばいである。

この間、移住・定住支援や関係人口創出に取組み、5カ年で111人の移住者を受入れるも、大学進学や就職等により若年層の転出が多く、人口減少の抑制には課題も多い。

これらの課題解決に向け、第3期総合戦略では、「湯沢市に住み続けたい」と考える市民の割合を改善することで、転出の抑制を図ることとしている。

●重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)	現状		単位	単年度 累計	実績値(上段:単年度/下段:累計)					目標値 R6	達成率
	年度	基準値			R2	R3	R4	R5	R6		
リビングラボプロジェクトによる取組	—	—	件	累計	1	0	2	3	2	5	160.0%
					1	1	3	6	8		
ゆざわローカルアカデミーの参加者	R1	7	人	累計	11	12	12	27	8	40	175.0%
					11	23	35	62	70		
都市部からのワーケーション受け入れ企業	—	—	社	累計	0	1	1	0	0	5	40.0%
					0	1	2	2	2		
複業・兼業マッチング件数	—	—	件	累計	0	0	0	0	0	10	0.0%
					0	0	0	0	0		
地域全体で若者を育成するための未来ファンド(基金)の形成	—	—	件	累計	0	0	0	0	0	1	0.0%
					0	0	0	0	0		
就学支援者(湯沢市奨学金利用者)	—	—	人	累計	10	8	13	19	14	20	320.0%
					10	18	31	50	64		
留学支援者	—	—	人	累計	0	0	0	0	0	30	0.0%
					0	0	0	0	0		
キャリア教育の実施(中・高・大)	—	—	回	累計	3	2	2	2	1	20	50.0%
					3	5	7	9	10		
ふるさと納税を活用したGCFによる起業支援	—	—	件	累計	0	0	0	0	0	3	0.0%
					0	0	0	0	0		
あきた結婚支援センターの加入促進(新規登録者/5箇年)	R1	71	件	累計	19	12	3	11	7	100	52.0%
					19	31	34	45	52		
合計特殊出生率	R1	1.04	—	単年度	1.16	1.01	0.97	0.95	0.68	1.45	46.9%
子育て支援に係る満足度の向上(満足度の低い層の改善)※	R1	24.6	%	単年度	【参考】 19.1	【参考】 15.8	【参考】 16.3	26.6	【参考】 21.3	20.0	93.9%
子育て支援ポータルサイトPV数	R1	150	PV	単年度	180	245	270	270	280	150	186.7%

※指標設定の基準となる「子ども・子育て支援ニーズ調査」は5年ごとの調査であるため、R2～R4、R6は参考値として「市民満足度調査」の結婚・子育て関連項目の平均値を記載

達成指標数

4/13

【実績総括】

設定した13項目のうち、目標値を達成できた項目は4項目に留まった。達成できなかったKPIの中にはコロナ禍の影響もあり、「留学支援者数」や「GCFによる起業支援」など対象者とのマッチングがかなわなかったものがあった。

一方、達成できたものとしては、湯沢市奨学金返還助成で多くの就学者を支援できたほか、ゆざわローカルアカデミーにも多数の参加をいただき、関係人口を創出することができたことから、第3期総合戦略でも継続して取組むこととしている。

第2期湯沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略取組実績

【戦略1】 新たな人の流れ・仕事の創出に係る取組実績

【重要業績評価指標（KPI）】	目標値	実績値						達成率
		R2	R3	R4	R5	R6	計	
・リビングラボプロジェクトによる取組	5 件	1 件	0 件	2 件	3 件	2 件	8 件	160.0%
・ゆざわローカルアカデミーの参加者	40 人	11 人	12 人	12 人	27 人	8 人	70 人	175.0%
・都市部からのワーケーション受け入れ企業	5 社	0 社	1 社	1 社	0 社	0 社	2 社	40.0%
・複業・兼業マッチング件数	10 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0.0%

事業概要 1. 関係人口の創出・拡大

<スケジュール実績>

		<計画>						<実績>					
		R2	R3	R4	R5	R6		R2	R3	R4	R5	R6	
多方面にわたる民間との協働・共創の推進													
	(仮)湯沢リビングラボの設立	→						→					
	(仮)湯沢リビングラボ運用開始	→	→	→	→	→		→	→	→	→	→	
	都市部リビングラボとの連携（ワークショップによる課題共有）	→	→	→	→	→		→	→	→	→	→	
	関係団体等との連携（ワークショップによる課題共有）	→	→	→	→	→		→	→	→	→	→	
	共創型プロジェクトの実施		→	→	→	→		→	→	→	→	→	
重要業績評価指標（KPI）		目標値						実績値					
	リビングラボプロジェクト → 5件		1	1	1	2		1	0	2	3	2	

<取組実績>

都市部との交流による地域課題の解決に向け、その受け皿となる組織として、令和2年3月に「ゆざわりリビングラボサポートオフィス」を設立。「旧酒造会館」を会場としたイベントやチビっ子アユつかみ体験などの取組を継続して行い、リビングラボプロジェクトによる取組数の目標を達成している。

コロナ禍の影響もあり、段階を踏んだ連携体制の整備を進められず、関係団体や横浜リビングラボ等と共創したプロジェクトの実現には至らなかったが、横浜リビングラボのメンバーにチビっ子アユつかみ体験のスタッフとして参加してもらうなど、都市部リビングラボとの交流は継続しているほか、令和6年度にはアユつかみ体験に約1,600人が参加するなど関係人口の創出・拡大の成果は出ており、さらなる交流を深めるため継続した活動は必要と考える。

<第3期総合戦略における関連した取組>

湯沢リビングラボの活動で得た関係を活かしつつ、地域おこし協力隊による関係人口の創出など、関係人口を構築する事業を継続していく。

事業概要 2. 移住・定住施策の推進・強化

<スケジュール実績>

		<実施計画>					<実績>				
移住・定住施策の積極的な推進		R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6
	ふるさと交流促進事業実施（ゆざわローカルアカデミー）	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	参加者コミュニティの構築（継続した関わり）	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	地域内の受入体制の強化（関係案内人・案内所）	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	受け皿となる中間支援組織の確立	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
重要業績評価指標（KPI）		目標値					実績値				
	アカデミー参加者 → 40人	8	8	8	8	8	11	12	12	27	8

<取組実績>

ゆざわローカルアカデミーでは、令和2・3年度はオンラインイベント、令和4～6年度は現地でのフィールドワークを開催し、延べ70人の参加者があり、目標を大きく上回った。
当初、想定していた地域におけるアカデミー参加者の継続的な受入体制の構築には至っていないが、受け入れの都度、地元団体や企業等の協力を得て実施できている、引き続きフィールドワークの受け入れ継続を図っていく。

<第3期総合戦略における関連した取組>

現地でのフィールドワークなど、ゆざわローカルアカデミーの実施を継続し、湯沢に興味を持つ関係人口の創出に引き続き取り組んでいく。

事業概要 3. テレワーク・ワーケーションの普及・促進

<スケジュール実績>

		<実施計画>					<実績>				
テレワーク・ワーケーション等の新たな働き方の提案		R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6
	ワーケーションアライアンスジャパン(WAJ)との連携による普及促進	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	テレワーク・ワーケーション受け入れ環境整備	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	モニター受け入れ	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	運用開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
重要業績評価指標（KPI）		目標値					実績値				
	都市部からのワーケーション受け入れ企業 → 5社	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0
	複業・兼業マッチング件数 → 10件	1	2	2	2	3	0	0	0	0	0

<取組実績>

令和3・4年度にNECソリューションイノベータ株式会社との間でワーケーションモデル事業を実施し、課題解決型ワーケーションの検討・実践を行った。しかし、コロナ禍によって十分なPRができなかったこともあり、それ以降、企業とのマッチングに至らず、ワーケーションの受入に至っていない。
そのため、内閣府が運営する地方創生SDGs官民連携プラットフォームを活用しながら、企業から課題解決の施策を提示してもらう取組を図るなど、新たな働き方の可能性について検討を進めた。

<第3期総合戦略における関連した取組>

新たな産業団地の造成と優良企業の誘致やIT関連企業の誘致によって、新しい仕事・働き方の創出を図っていく。

【戦略2】若者への未来投資による定住の促進に係る進捗状況

【重要業績評価指標（KPI）】	目標値	実績値						達成率
		R2	R3	R4	R5	R6	計	
・地域全体で若者を育成するための未来ファンド（基金）の形成	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0.0%
・就学支援者（湯沢市奨学金利用者）	20 人	10 人	8 人	13 人	19 人	14 人	64 人	320.0%
・留学支援者	30 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0.0%
・キャリア教育の実施（中・高・大）	20 回	3 回	2 回	2 回	2 回	1 回	10 回	50.0%
・ふるさと納税を活用したGCFによる起業支援	3 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0.0%

事業概要1. 奨学金施策振興による若者の回帰促進

<スケジュール実績>

		<実施計画>					<実績>				
		R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6
市産業等の活性化に貢献する高い志のある人材の確保											
①就学支援事業（新たな奨学金制度の創設）											
	現行奨学金制度の拡充・実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	奨学金ニーズ調査	→					→				
	出資企業意向調査	→					→				
	新規奨学金事業詳細設計	→	→				→	→	→	→	→
	未来ファンド（基金）形成・育成プログラム作成		→	→	→	→					
	運用開始			→	→	→					
②奨学金返還助成金交付事業の拡充											
	進路調査	→					→				
	求人調査	→					→				
	新規奨学金事業制度設計	→	→				→	→	→	→	→
	運用開始		→	→	→	→					
重要業績評価指標（KPI）		目標値					実績値				
	地域全体で若者を育成するための未来ファンド（基金）の形成	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	就学支援者 → 20人（湯沢市奨学金利用者）	2	3	5	5	5	10	8	13	19	14

<取組実績>

若者の市内定着を目的とし、湯沢市に住民登録のある方への奨学金返還助成を行った。市内の高等学校への奨学金貸与制度の周知の際に、奨学金返還助成も併せて紹介し、認知度向上を図ることで、令和6年度は72人に対して支援を行っている。また、この間、支援期間を10年間に延長したほか、企業が従業員の返還額の一部又は全部を返還する代理返還制度についても支援対象としている。

湯沢市奨学金については、令和6年度は14人（大学8人、短期大学2人、専門学校3人、高等学校1人）に対して支援を行い、5年累計で64人と目標の20人を大きく上回る学生に対して支援を行ってきた。

なお、官民一体となって学生を支援することを目的とした未来ファンド（基金）の形成については、市内事業者を対象にアンケートを実施し、出資に対する意向調査を行ったが、コロナ禍による経済状況の悪化から現段階での連携は困難と判断し、今後の課題とした。

<第3期総合戦略における関連した取組>

奨学金返還助成制度および湯沢市奨学金ともに利用者が多いことから事業を継続し、進学により湯沢を離れる若者の回帰促進を図っていく。

事業概要 2. 中学生（高校生）を対象とした短期留学支援

<スケジュール実績>

		<実施計画>					<実績>				
自ら未来を切り拓くグローバル人材の育成		R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6
	留学支援事業実施（試験的：スタートアップ）	→	→	→							
	留学支援事業詳細設計	→	→	→			→	→	→	→	→
	未来ファンド（基金）形成・育成プログラム作成		→	→	→	→					
	運用開始				→	→					
重要業績評価指標（KPI）		目標値					実績値				
留学支援者 → 30人		6	6	6	6	6	0	0	0	0	0

<取組実績>

新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航禁止措置によって計画した留学支援事業の実施に至らなかったものの、その代替として、令和4年度から、中学生・高校生を対象としたグローバル人材育成セミナーを国際教養大学と連携して行った。令和4～6年度で計30人の中高生が参加し、留学生との交流等によりグローバルな視点を養うことができた等、人材育成として一定の成果に結びついたものとする。

<第3期総合戦略における関連した取組>

長期休業中の英語・プログラミングの課外教室などで、「もっと知りたい、学びたい、興味を深めたい」児童・生徒への課外教育の充実を図っていくほか、県内の大学や留学生との交流の機会の創出・充実（国際教養大学学生との交流の実施など）を図っていく。

事業概要 3. キャリア教育の振興等による地元企業就職者の確保

<スケジュール実績>

		<実施計画>					<実績>				
産学官等の連携による人材育成		R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6
	実施に向けた学校との協議（中学校・高等学校）	→					→				
	企業意向調査	→					→				
	事業詳細設計	→	→				→	→	→	→	→
	運用開始		→	→	→	→					
重要業績評価指標（KPI）		目標値					実績値				
キャリア教育の実施（中・高・大） → 20回		0	3	3	6	8	3	2	2	2	1
ふるさと納税を活用したGCFによる起業支援 → 3件		0	0	1	1	1	0	0	0	0	0

<取組実績>

市内高校生や市出身大学生等を対象とした各種セミナーやイベントを毎年開催し、計200人以上に参加いただき、学生のキャリアデザインと地元への愛着促進に一定の効果があった。当初想定していた産学官等が連携した継続的な人材育成の仕組み構築には至らなかったが、様々な企業や団体と連携しキャリアデザインの機会を創出した。

なお、ふるさと納税を活用したGCF（ガバメントクラウドファンディング）は、地域資源を活用した地域経済の活性化や地域の課題解決に資する事業による起業を支援するための資金調達方法であるが、コロナ禍での起業リスクの影響もあり、想定したマッチングには至っていない。

<第3期総合戦略における関連した取組>

これまでのキャリア教育の取組を活かしつつ、新たな産業団地の造成と優良企業の誘致やIT 関連企業の誘致による新しい仕事・働き方の創出により、地元における雇用機会の創出を図るほか、新たな雇用・仕事に対応した市民のリスクリテラシー支援による市民所得の向上に向けた取組を行う。

また、ふるさと納税を活用した資金調達支援だけでなく、湯沢市創業スタートアップ補助金などにより、起業・創業に対する支援を図っていく。

【戦略3】結婚・出産・子育て支援の充実に係る進捗状況

【重要業績評価指標（KPI）】	目標値	実績値						達成率
		R2	R3	R4	R5	R6	計	
・あきた結婚支援センターの加入促進（新規登録者／5箇年）	100 件	19 件	12 件	3 件	11 件	7 件	52 件	52.0%
・合計特殊出生率（R元年値1.04）	1.45 以上	1.16	1.01	0.97	0.95	0.68	0.68	46.9%
・子育て支援に係る満足度の向上（満足度の低い層の割合） ※指標設定の基準となる「子ども・子育て支援ニーズ調査」は5年ごと（R5実施）の調査であるため、参考値として「市民満足度調査」の結婚子育て関連項目の平均値を記載	20 %以下	19.1 %	15.8 %	16.3 %	26.6 %	21.3 %	- %	-
・子育て支援ポータルサイトPV数（現状値の維持）	150 PV	180 回	245 PV	270 PV	270 PV	280 PV	280 PV	186.7%

事業概要1. 出会いの機会創出と結婚支援の強化

<スケジュール実績>

		<実施計画>					
出会いの機会創出と結婚支援		R2	R3	R4	R5	R6	
結婚支援コーディネーターの確保・育成		→	→	→	→	→	
結婚支援コーディネーターによる結婚支援		→	→	→	→	→	
独身者の交流促進		→	→	→	→	→	
結婚支援の充実		→	→	→	→	→	
重要業績評価指標（KPI）		目標値					
あきた結婚支援センターの加入促進 → 新規登録者を5箇年で100人		20	20	20	20	20	

<実績>					
R2	R3	R4	R5	R6	
→	→	→	→	→	
→	→	→	→	→	
→	→	→	→	→	
→	→	→	→	→	
実績値					
19	12	3	11	7	

<取組実績>

あきた結婚支援センターの入会金の助成を行い、5年間で助成制度を利用して52件の新規登録があった。また、令和4・5年度には婚活イベントを実施し、出会いのきっかけづくりを図ったが、期待した効果が十分に得られなかったことから、令和6年度は結婚相談所の登録料等に対する助成制度を創設し結婚支援を強化した。

結婚は、個人の価値観や経済面など様々な要素が絡み合っており、今後は、出会いを見つけること、出会った二人が結婚生活をスタートさせることへの両面から支援を充実させ、出会いや家庭をつくる若者をサポートして行く。

<第3期総合戦略における関連した取組>

出会いから結婚までの期間は平均3年程度であることから、引き続き、若い世代が集まる・出会うイベントや結婚を支援する事業への支援により、集まる・出会うきっかけづくりの推進を図るほか、婚活に要する経済的負担の軽減（結婚相談所の利用に要する費用の補助、あきた結婚支援センターへの登録料の補助など）を行う。

また、住環境支援は人口減少対策に欠かせず、特に若者の地元定着には重要な取組と考えることから、結婚を考えている二人に対する支援（結婚に向けたライフプランに関するセミナーの実施など）や結婚生活スタート応援事業、若者世帯住宅取得費用補助の実施を行っていく。

事業概要2. 子育てニーズにこたえるまちづくり

<スケジュール実績>

		<実施計画>					<実績>				
安心して子どもを産み育てることができる環境づくり		R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6
	出産おめでとう事業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	子ども・子育て支援事業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	ゆざわライフイベントサポート事業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	子育て世帯の負担軽減施策	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
重要業績評価指標（KPI）		目標値					実績値				
	合計特殊出生率 → 1.45以上を確保（R元年値1.04）	-	-	-	-	-	1.16	1.01	0.97	0.95	0.68
	子育て支援に係る満足度の向上 → 満足度の低い層を20%以下に改善※指標設定の基準となる「子ども・子育て支援ニーズ調査」は5年ごと（R5実施）の調査であるため、参考値として「市民満足度調査」の結婚子育て関連項目の平均値を記載	-	-	-	-	-	19.1	15.8	16.3	26.6	21.3

<令和6年度取組実績>

出産に対する支援として、令和4年度まで子育てクーポン（3万円）及び曲木椅子を贈呈。令和5年度からは妊娠届・出産届時に各5万円を給付している。また、産前産後家事ヘルパーの開始（令和4年度～）、第2子以降の保育料の完全無償化（令和5年度～）、学校給食費の完全無償化（令和6年度～）など段階的に子育て支援策を強化し、課題であった子育てに関する経済的な負担軽減を図った。

<第3期総合戦略における関連した取組>

子育てに優しいまち（安心して生き、育てられるまち）を目指し、副食費および学校給食費の無償化を引き続き実施するほか、第1子の保育料も無償化することで保育料を完全無償化とする。
また、妊産婦の診療にかかる福祉医療費の給付により、経済的負担の軽減を図るほか、アプリを活用した母子手帳・子どもの予防接種等の仕組みを導入し、接種漏れ防止や記録管理の効率化を図る。

事業概要3. 情報発信・発信ツールの検討・見直し

<スケジュール実績>

		<実施計画>					<実績>				
SNS等による情報発信手段等の見直し		R2	R3	R4	R5	R6	R2	R3	R4	R5	R6
	ツールの検討	→					→				
	加入促進PR	→					→				
	講習会の開催	→					→				
	運用開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
重要業績評価指標（KPI）		目標値					実績値				
	子育て支援ポータルサイトPV数 → 現状値(150PV)の維持	-	-	-	-	-	180	245	270	270	280

<取組実績>

令和3年度に子育て情報専門ポータルサイト「ゆざわ子育てナビ」を開設し、情報の一元化を図るなど、情報の効果的な発信に努めており、子育て支援ポータルサイトPV数も目標値を大きく上回っている。
また、令和5年度からは市公式LINEにおいて利用者のニーズに合わせた情報を発信する「セグメント配信」を導入しており、子育て世代が必要とする情報を簡単に取得できるよう工夫を重ねている。

<第3期総合戦略における関連した取組>

引き続き、動画やSNSを活用したゆざわの魅力発信を図っていく。

令和7年度 第3期湯沢市総合戦略に関連した主な取組

1. 未来を創る「若者」を応援するまちづくり

(1) 移住・定住 ～関わりたい・住みたい・住み続けたいまち～

<【施策①】ゆざわの魅力発信と“ゆざわファン”の獲得>

【令和7年度の主な取組内容】

- ・ SNS発信、CM作成、地域おこし協力隊による発信など
- ・ 関係人口の構築に係る地域おこし協力隊員の配置
- ・ ゆざわローカルアカデミーの実施
- ・ ふるさと仕送り支援事業の対象学生とのLINEオープンチャット
- ・ 首都圏等における移住相談会への参加、移住関連イベントの実施など

<【施策②】ゆざわに「住む」・「住み続ける」移住・定住の促進>

【令和7年度の主な取組内容】

- ・ 移住支援事業補助金の交付
- ・ 地方就職学生支援事業補助金の交付
- ・ 奨学金返還助成金の交付
- ・ 湯沢市奨学金の貸与
- ・ 若者世帯住宅取得費用補助金の交付

(2) 出会い・結婚 ～大切な人と出会い、家族になれるまち～

<【施策①】ゆざわで見つける素敵な「出会い」>

【令和7年度の主な取組内容】

- ・ あきた結婚支援センター入会金助成、結婚相談所利用費用の補助
- ・ 若者女性未来応援助成金の交付
- ・ 若い人が集い交流する仮装イベントの開催

<【施策②】出会った二人の結婚生活のスタートを全力でサポート！！>

【令和7年度の主な取組内容】

- ・ 結婚につながるライフプランセミナーの開催
- ・ 結婚生活スタート応援事業補助金の交付

(3) 妊娠・出産・子育て ～子どもも親も笑顔でくらせるまち～

<【施策①】「子どもを持ちたい」想いに寄り添います>

【令和7年度の主な取組内容】

- ・ 妊産婦への医療費助成（マル福）
- ・ 出産・子育て応援給付金の給付
- ・ 妊婦等包括相談支援事業（妊産婦に対する保健師、助産師等によるケアの実施）
- ・ 子育て家庭家事支援業務、産後ケア業務の実施
- ・ 特定不妊治療費の助成、一般不妊治療・不育症治療費の助成
- ・ 二十歳を祝う会におけるプレコンセプションケアに関するリーフレット配布

<【施策②】子育てに関する経済的負担の軽減>

【令和7年度の主な取組内容】

- ・ 保育料無償化、副食費無償化 ※第1子の保育料無償化は令和7年9月より
- ・ 給食費の無償化
- ・ 18歳までの子どもへの医療費助成（マル福）

<【施策③】子育てがしやすい環境の整備>

- ・湯沢駅周辺複合施設における子育て機能の提供（令和8年10月開館予定）
- ・ゆざわ子育てマルっと応援DAYの開催
- ・母子手帳アプリ「母子モ」の導入

（４）教育 ～子どもたちが夢を見つけ、実現する力を育むまち～

<【施策①】よりよい「学び」を提供する学校教育の充実>

- 【令和7年度の主な取組内容】
- ・授業でのICT活用サポート業務委託
- ・児童生徒用パソコン端末の整備（更新）
- ・小中学校のエアコン改修工事
- ・体育館等LED化、校舎屋根や外壁の改修工事

<【施策②】子どもたちの「もっと学びたい」に応える教育>

- 【令和7年度の主な取組内容】
- ・インテンシブ・イングリッシュ・デイの開催
- ・プログラミング学習用教材の活用

<【施策③】地域で学び、支える教育>

- ・コミュニティ・スクールの推進
- ・地域学校協働本部の設置
- ・休日の部活動の段階的な地域移行に向けた環境整備
- ・ふるさと教育、キャリア教育、ジオサイト学習

２．みんなの「幸せ」に寄り添うまちづくり

（１）地域公共交通 ～快適・便利で持続可能な公共交通があるまち～

<【施策①】日々の暮らしを支える地域公共交通>

- 【令和7年度の主な取組内容】
- ・乗合タクシーの運行、バス事業者への補助、コミュニティバスの運行

<【施策②】多様な主体が連携した新たな交通サービス>

- 【令和7年度の主な取組内容】
- ・公用車カーシェアリング

（２）経済・雇用 ～新たなにぎわいと雇用の創出に挑むまち～

<【施策①】にぎわいの創出による地域経済の活性化>

- 【令和7年度の主な取組内容】
- ・道の駅おがち周辺の整備
- ・道の駅おがち「小町の郷」周辺の整備
- ・湯沢生涯学習センター等跡地の活用
- ・台湾をターゲットとしたインバウンド誘客の推進

<【施策②】「働きたい」「稼ぎたい」意欲に応える新たな雇用・仕事の創出>

- 【令和7年度の主な取組内容】
- ・成沢工業団地敷地の造成
- ・秋田県東京事務所への職員派遣
- ・情報関連企業誘致促進補助金の交付
- ・IT企業への委託によるIT分野についてのリスクリングの実施
- ・創業スタートアップ補助金の給付等

（ 3 ） 医療・健康 ～心も体も元気でいられるまち～

<【施策①】安心して受けられる医療サービス>

【令和7年度の主な取組内容】

- ・乳がん・子宮頸がんの個別検診の実施
- ・救急・小児医療に対する補助、中核病院の機能確保のための補助
- ・産科医療に対する補助

<【施策②】心と体の健康づくりの推進>

【令和7年度の主な取組内容】

- ・フレイル予防の啓発、脳若健康教室の実施
- ・フレイル予防講座の実施
- ・自殺予防事業（人材育成、周知・啓発、健康相談、児童生徒を対象としたSOS出し方講座・教員を対象としたSOS受け止め方講座の実施）

（ 4 ） ライフスタイル ～楽しく自分らしく生きられるまち～

<【施策①】ゆざわぐらしを楽しく便利に！！>

【令和7年度の主な取組内容】

- ・湯沢駅周辺複合施設における生涯学習機能の提供（令和8年10月開館予定）
- ・湯沢文化会館等社会教育施設の運営
- ・生涯学習センターの運営、公民館事業の実施
- ・地区センターの整備（更新）
- ・eスポーツを活用した中心市街地活性化に係る地域おこし協力隊員の配置
- ・LINEを活用した「来なくていい市役所」の運用、書かない窓口の運用

<【施策②】心と体の健康づくりの推進>

【令和7年度の主な取組内容】

- ・若者未来応援助成金の交付
- ・高校生による市長への提言事業の実施
- ・湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会の設置
- ・ゆざわイクボス応援団の募集
- ・第5次男女共同参画計画策定に係るアンケートの実施